

これからの NPO 自然博ネットの活動 事務局

2016年5月に行われたNPO自然博ネットの総会前に、これまで推進協の設立から中心的存在だった団体会員のひとつが、当NPOから脱退されました。脱退の理由は、すでに静岡県に「ふじのくに地球環境史ミュージアム」ができて、当NPOの目的である「静岡県に県立自然史博物館を！」が達成されたためというものでした。また、総会の折にもある会員から個人的に「すでにNPOの目的は達成されたので、NPOは解散しないのか」という質問を受けました。

私たちNPO自然博ネットの活動は、1995年の静岡県立自然系博物館設立推進協議会の設立に始まり、2003年に「NPO静岡県自然史博物館ネットワーク」が設立して、継続して「静岡県に県立自然史博物館を！」をスローガンに掲げ、静岡県に県立自然史博物館を設置してもらうことを目的として活動してきました。そして、2016年3月に当NPOが望んでいた自然史博物館とは名前と目的は少しちがいますが、「ふじのくに地球環境史ミュージアム」という博物館が設置されました。そのため、会員の中には、当NPOの目的はすでに達成され、その存在意義はなくなったと思われる方や団体もあったと思われます。

しかし、私たちNPOは2003年からすでに「静岡県立自然系博物館設立推進協議会」ではなく、「NPO静岡県自然史博物館ネットワーク」であり、「静岡県に県立自然史博物館を！」というスローガンを掲げていましたが、それは目的のひとつにすぎませんでした。当NPOの昨年度までの目的と活動内容を列記すれば、①自然史博物館の設立に関する事業、②自然史研究に関する資料・標本の収集・保管・研究に関する事業、③自然史博物館の運営管理サポート事業、④自然史環境教育に関する事業、⑤自然環境をテーマにした団体への助言または支援に関する事業という5つのものがあります。当NPOは、静岡県の自然史研究や自然環境教育活動のネットワークの中心として、県立自然史博物館の設立を目指し、博

物館がなくても実際に自然史博物館活動を実施していく団体です。

当NPOは設立と同時に、博物館という施設はなかったですが、県から標本資料の収集整理事業などを委託するとともに、ミニ博物館や自然観察会、シンポジウム、東海自然誌の発行などを実施して、静岡県での自然史博物館活動を展開してきました。博物館は一般に利用する側に主体のある教育「施設」と考えられていますが、博物館は施設だけではなく、専門性を活かした独自の活動を展開する博物館は「機関」です。博物館が「機関」である以上、そこにはそこ独自の目的と活動があります。

県の博物館ができた現在、私たちはそこを拠点として、博物館と協力して私たちの使命である自然史研究や自然環境教育活動のネットワークの中心として、「静岡県での自然史博物館活動」をさらに展開していかなくてはなりません。そのため、今年度の活動目的からは前掲の①の「自然史博物館の設立に関する事業」がなくなり、代わりに「その他、法人の目的を達成するために必要な事業」が加わりました。そして、スローガンも「魅力的な自然史博物館活動を目指して！」と変更されました。

現在、当NPOの目的が達成されたわけではなく、念願の博物館ができてようやくスタートラインに立ったところです。「ふじのくに地球環境史ミュージアム」もできたばかりで、まだ組織や運営なども十分に整備されているとはいえ、博物館運営の両輪のひとつとして、今後それらの整備に協力していかなくてはなりません。当NPOは、これまでともに努力して歩んできていただいた会員に感謝するとともに、今後も「魅力ある静岡県の自然史博物館活動」を推進していきたいと思っています。当NPOの会員の皆さんには、これまでとかわらずのご支援とご協力をいただきたいと思います。